



# 金融商品ガイド

## 毎月分配型ファンド 「利回りランキング」

**若** 千の例外を除けば、ものごとの是非は対象物と人間とのかわり方いかんによるのだ。投資信託の収益分配も同様。「毎月分配型」のスキームそのものは是でも非でもない。Aさんには有意でもBさんには本質的に不適といふことがありうるのである。

毎月分配型には否定的評価が多い。「運用収益が相応に

プラスなら、途中で分配して運用原資を減らすことはトータルリターン重視の立場からはマイナス要因であり、内部留保しさらなる運用収益を追求すべし」という考えだ。これは日本の株式会社で長らく経営側と株主の間で暗黙の了解だった「収益は内部留保し、さらなる成長を追求するほうが長期的には株主にプラス」という考えと相似である。

だが私はこの考え方には、いささか不満がある。いま株式市場を席卷しているのは「内部留保もさることながら収益の相当部分はそのつど株主に分配すべき」という考えではないか？ 債券投資にしても、トータルリターンつまり最終利回り重視の投資姿勢もあれば単年度収益つまり直利重視の投資姿勢もある。立場により選好される投資姿勢は異なるのだ。

してみれば、毎月分配型も、生活費のうち公的年金受給額では不足する分に充てるため、元本を取り崩すことを前提と

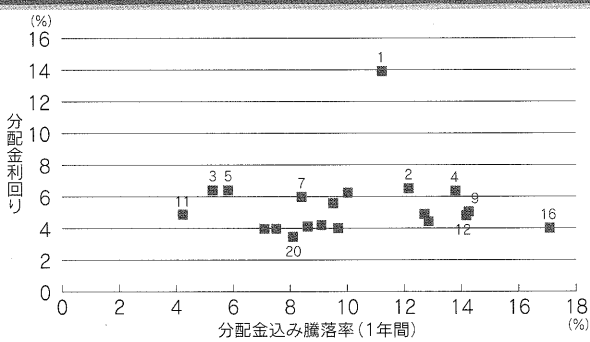
したファンドと見なすことも可能だろう。この立場からは、「期中収益を超える分配金はファンドの原則にもとる」との考えは了見が狭いことになる。

**毎月分配型ファンドの年換算の利回りは**

そうした元本取り崩し型を前提とする立場からは、トータルリターンつまり分配金控除前の騰落率もさることながら、期間収益つまり「分配金利回り」が重視されよう。

表は代表的な毎月分配型ファンドの8月の分配金を12倍

分配金利回りと騰落率の分布



### 「毎月分配型」外債ファンドの期間収益ランキング 一年換算した「分配金利回り」の試算

順位	ファンド名	運用会社名	基準価額 (7月末、円)	分配金込み 騰落率 (1年間、%)	分配金 (8月、円)	分配金利回り ( $\frac{b}{a} \times 12 = a \times 100$ ) (%)
1	シティ・グローバル・プラス(毎月分配型)	シティグループ・アセット・マネジメント	10,710	11.14	125	14.01
2	ダイワ・グローバル債券ファンド(毎月分配型)	大和証券投資信託委託	10,882	12.08	60	6.62
3	グローバル・エマージング・ボンド・オープン	UFJパートナーズ投信	7,467	5.24	40	6.43
4	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)	大和証券投資信託委託	10,280	13.75	55	6.42
5	PCA米国高利回り社債オープン	ピーシーイー・アセット・マネジメント	9,494	5.71	50	6.32
6	グローバル・ハイ・インカム・オープンポートフォリオA	アライアンス・キャピタル・アセット・マネジメント	6,671	9.93	35	6.30
7	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	国際投信投資顧問	7,975	8.34	40	6.02
8	ユーロ最高格付国債・インカム・ファンド(毎月決算型)	ピクテ投信投資顧問	9,616	9.44	45	5.62
9	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	日興アセットマネジメント	10,701	14.19	45	5.05
10	三菱グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	三菱投信	10,605	12.65	43	4.87
11	米国投資適格債券ファンド(毎月決算型)	第一勧業アセットマネジメント	9,952	4.18	40	4.82
12	シティ・オーストラリア毎月分配型ファンド	シティグループ・アセット・マネジメント	10,450	14.10	42	4.82
13	豪ドル毎月分配型ファンド	UFJパートナーズ投信	10,966	12.81	40	4.38
14	三菱外国債券オープン(毎月分配型)	三菱投信	11,303	9.01	40	4.25
15	明治ドレスナー外国債券オープン(毎月分配型)	明治ドレスナー・アセットマネジメント	10,763	8.54	37	4.13
16	DIAM高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	興銀第一ライフ・アセットマネジメント	10,504	17.04	35	4.00
17	海外国債ファンド	新光投信	12,039	9.62	40	3.99
18	ゴールドマン・サックス毎月分配債券ファンド	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	10,734	7.05	35	3.91
19	ワールド・ソブリンインカム	日本投信委託	10,745	7.42	35	3.91
20	DIAMグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2	興銀第一ライフ・アセットマネジメント	10,343	8.06	30	3.48

注) ファンド名および運用会社名は一部略称。毎月分配型の外債ファンドについて、7月末の基準価額に対する8月の分配金×12の比率を「分配金利回り」(単位: %)として算出し、その数値の大きい順に掲載

した額を7月末の基準価額で割って試算した年率の「分配金利回り」ランキング。図示したのは期間1年の騰落率と分配金利回りの分布。運用対象を勘案すれば分配金利回りはまずまずの水準だろう。

騰落率は期間1年のみ、分配金利回りは1カ月分のみ

試算だけに、これだけでファンドの特性を即断はできない。ただ、元本の取り崩し型の投資姿勢を前提に「65歳以後は、生活費のうち公的年金受給額では不足する分を補充したい」人にこうした毎月分配型ファンドは適していると思うが、どうだろう。